

「現代建築でもっとも称賛される作品のひとつ」と賞されている
ビルバオのグッゲンハイム美術館訪問・見学！イヤホン
ガイド付日本語
ガイド付世界の“食の都”サンセバスチャンと世界の生協運動の
中心地のひとつモンドラゴン協同組合企業を訪問・見学する北部スペイン・バスク州の旅 6日間

ご要望の多いスペイン北部のバスク州を訪ねる旅です。今でも古来からの独自の文化や言語を持ち続けていることで知られるバスク人が多く住むバスク州のギプスコア県の県都で、近年世界中から注目されている“食の都”サンセバスチャン（サン・セバティアン／バスク語名:ドン・スティア）と、同じくギプスコア県にある世界の生協運動の中心地のひとつ「モンドラゴン協同組合企業」があるモンドラゴン（バスク語名:アラサーター）を巡り、さらに隣接のビスカヤ県にあり国際空港が位置するビルバオ（バスク語名:ビルボ）にある世界的に著名な美術館「グッゲンハイム美術館」を訪ねます。スペイン料理ではタパスと呼ばれる小皿料理が有名ですが、大西洋側のフランス国境に近いバスク州等の北部スペインでは「ピンチョス」と呼ばれ、特に発展しています。本来はアペタイザ（前菜）ですが、サンセバスチャン旧市街等に多数密集している「バル」と呼ばれる軽食を出す気軽な酒場では各店が工夫を凝らした多種多様なピンチョスが名物となっていて、「チャコリ」（バスク特産の辛口微発泡性白ワイン）等のお酒とともに2, 3品ピンチョスをつまむと隣のバルに行き、また2, 3品つまむとまた隣のバルへという食べ歩き（飲み歩き）のスタイルが定着しています。

サンセバスチャンは元々は大西洋のビスケー湾に面した風光明媚な海岸リゾート（サンセバスチャンの海岸エリアは特に「コンチャ湾」と呼びます）でしたが、著名な国際映画祭や音楽祭、ジャズフェスティバル、国際会議等が定期的に催され、大学やその研究所も複数あるなどこの地域の文化の中心地でもあり、2016年にはEUが選定する「歐州文化首都」に選ばれています。さらに“食の都”ということでも有名格付け星付きレストランが4軒（※スペイン全土で8軒）ある他、世界的権威ある「レストラン誌」選定「世界のベストレストラン50」のベスト10の内、何と2軒が所在！、観光客のみならず世界中のシェフ等プロフェッショナル達が料理を学びに来ることでも有名（スペイン初の料理学の学位認定機関あり）、さらにそれを目当てに世界中の食通たちが集まるという構図（“ガストロノミー（美食・ツーリズム）”）になっています。そんな地元の食通たちが集まる「美食俱楽部（バスク語名:チヨコ）」と呼ばれる私的な少人数のサークルのような集まりがいくつもあり、そこにシェフを定期的に招いて新作のメニュー等を皆で試食しながら語らって楽しむというグルメ文化も有名です。ツアーではその美食俱楽部のひとつにお邪魔してサンセバスチャンが誇る「美食」をいただいたり、また自由時間も設けますので街中のバルを巡って多彩なピンチョスの味見もしていただけます（※バル巡り時の食事は各自注文・各自支払いとなります）。さらに市内の「有名格付け1つ星店」にて憧れの美食のコースディナーも1回ご賞味いただけます！



サンセバスチャンから70km程のモンドラゴンには世界の生協運動の中心地のひとつとして非常に有名な「モンドラゴン協同組合企業」があり、世界中からの訪問・見学者が絶えません。日本からも生活クラブ生協をはじめとする各生協の組合員や理事、生産者の皆さんが定期的に見学に訪れています。本ツアーでもせっかく近くに来ていますので、半日モンドラゴンを訪れてモンドラゴン協同組合企業の見学プログラムに入りて見学をします（通常、個人での見学はできません）。また国際空港がありバスク地方の玄関口ともなっている都市ビルバオには世界的に有名な「グッゲンハイム美術館」があります。その近現代美術中心の所蔵品はもちろん、特に必見となっているのが世界的建築家フランク・ゲーリー氏設計によるその建物で、「現代建築でもっとも称賛される作品のひとつ」とされ、世界中から多くの人がこの建物を見学するために訪れています。ツアーでもガイドの案内でゆっくり見学いただきます。サンセバスチャンでの宿泊は交通至便で街歩きにも便利な旧市街そばのコンチャ湾に面した歴史ある高級名門ホテルに3連泊します。羽田から添乗員も同行しますので、お一人様でも安心してご参加いただけます。



旅行期間

2025年11月23日(日)～28日(金) 羽田発着

日本との時差: -8時間 日の出/日没時刻: 8:10 / 17:35頃

旅行代金	2名様1室利用 (お一人様) ※1名様1室 追加代金75,000円(3泊) ※ビジネスクラスをご希望の方はツアー申込みと 同時にご相談下さい。	698,000円	募集人員	12名様 (最少催行人員 8名様)
------	---	----------	------	-------------------------

サンセバスチャン(3連泊): ロンドレス・イ・デ・イングラテーラ 等
(洋室(ツイン/ダブル))

※3人部屋はありません。また各ホテルに原則、バスタブはありません。

国際線利用
のための
諸費用
86,740円(6/27現在)
燃油サーチャージ75,760円、羽田空港施設使用料・保安料3,180円、
国際観光旅客税1,000円、現地空港諸税・航空会社諸費用計6,800円

◆現地気候	都市(11月)	平均最高気温	平均最低気温	月間降雨日数	月間平均降水量
	サンセバスチャン	15°C	10°C	9日	140mm
	東京	17°C	9°C	7日	96mm

ご注意 日本国籍者の観光目的のスペイン入国に査証は必要ありません。ただし出国時パスポートの残存有効期限が3ヶ月以上あることが条件となります。



3泊6日

- 1夜 : 羽田空港19:30集合・21:45発予定、ターキッシュエアラインズにて空路、イスタンブール空港着後、国際線を乗り継ぎ、スペイン北部バスク州のビルバオへ
朝 : 着後、ガイドと合流し昼食を取り、世界の生協運動の中心地のひとつ「モンドラゴン協同組合企業」へ(約50km・1時間30分)
午後: モンドラゴン生協の見学プログラムに入り見学(約1時間30分)終了後、「食の都」サンセバスチャンへ(約70km・2時間)
- 2夜 : 着後、旧市街の名門ホテルへチェックインし、ガイドの案内で徒歩で食の都のバル街巡りをしながら夕食、多彩なピンチョスをお楽しみください！
※バル巡りでの食事は各自注文・各自支払いとなります
※バルでは基本的に立食となり、1ヶ所の滞在時間は数十分程度となります
食事:朝○・昼○・夕×【サンセバスチャン泊】
- 3午前: 朝食後、サンセバスチャン市内観光(サンセバスチャンのランドマーク「ブエン・パストール大聖堂(善き羊飼いの大聖堂)」、ケーブルカーに乗り車してサンセバスチャンを展望する絶景の丘「モンテ・イゲルド」、ミラマール宮殿、サンテルモ博物館等)終了後、ホテルへ
午後: フリータイム
夜 : 市内の有名格付け1つ星レストランにて、サンセバスチャンの美食の夕食をご堪能！
食事:朝○・昼×・夕○【サンセバスチャン泊】
- 4午前: 朝食後、市内の“美食俱楽部”的ひとつを訪問、お話を伺い見学後、美食俱楽部の昼食をお楽しみいただけます！
午後: フリータイム
夜 : バル街巡りをし(添乗員同行)、多彩なピンチョスをお楽しみください！
※バル巡りのお食事は各自注文・各自支払いとなります
食事:朝○・昼○・夕×【サンセバスチャン泊】
- 5朝 : 朝食・チェックアウト後、国際空港のあるビルバオへ(約80km・2時間)
午前: 市内の国際的に有名なグッゲンハイム美術館見学(約2時間)
※近現代美術中心の所蔵品および「現代建築でもっとも称賛される作品のひとつ」とされる建物も必見です！
午後: レストランにて昼食後、ビルバオ空港へ
夕刻: チェックイン・出国後、ターキッシュエアラインズにてイスタンブール空港へ
深夜: 着後、国際線を乗り継ぎ、羽田空港へ
食事:朝○・昼○・夕×【機中泊】
- 6夜 : 19:20頃、羽田着予定・解散
食事:朝○・昼○・夕×
添乗員・同行します ■食事 / 朝食3回・昼食3回・夕食1回
■交通機関 / ターキッシュエアラインズ